

科 目 名	必修・選択	単位数	類型
英語特講	選択	2	GC 科 普通科
教科書 副教材等	未来につながる英作文 Standard (ラーンズ)		

1 学習目標

- ① 構文を使うべき場面を見抜く、分析力を身に着ける。
- ② 英語の構文を活用して、不自由なく英作文ができる。
- ③ 文で表現すること、文法を活用することを通じて、論理的思考力と表現力を身に着ける。

2 学習概要

- ア 導入 : 例文を音読し、この後の活動で使う表現を確認する
- イ 活動(演習) : 確認した表現を用いた問題演習によって、表現に慣れる
- ウ 活動(実践) : 確認した表現を用いた英作文に取り組むことによって、思考力・表現力を養う

3 学習方法

(1) 授業への取組

- ・言語の基本は音声にあります。作文が主の授業ではありますが、発音や聞き取りの練習として、音読やペアワークに積極的に取り組みましょう。
- ・定着のためにはアウトプットが不可欠です。失敗を通して経験値を積むことを意識しましょう。黙っていたり紙が空白のままだったりすると、何の上達もできません。単語だけでもよい、途中まででもよい、違っていてもよいので、必ず何かしら形にしましょう。

(2) 家庭学習

- ・予習：例文を読み、これまでに学んだ語句や表現を思い出す。
- ・復習：知識定着と表現力向上には、反復練習が不可欠です。授業の活動では間違いを恐れずにどんどん発信していくことが大切であり、復習では、構文・文法を正確に使えたかを振り返り、一度書いた作文や原稿の誤りを訂正しリライトすることが有効です。

4 評価について

(1) 評価方法

「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の3領域を、「知識・技能(①)」「思考力・判断力・表現力(②)」、「学びに向かう人間性(③)」の3観点で評価します。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査(中間・期末考査).....①、②
- ・授業中の確認テスト(ペーパー)または発表(口頭).....①、②、③
- ・授業中の発問に対する応答.....①、②、③
- ・授業に対する姿勢や態度.....②、③
- ・課題や提出物等の提出状況.....①、②、③

上記の項目を総合し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考力・判断力・表現力(②)	学びに向かう人間性(③)
評価基準	[知識] 発話や作文において、語彙や文法を正確に使っている。 幅広い語彙を使うことができる。 [技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる。	[思考力] 論理の構成や展開を工夫して発話や記述ができる。 [判断力] 学んだ構文を使うべき場面を判断できる。 [表現力] 自分の意見や主張などを不足なく発話や文に盛り込むことができる。	授業中の活動に積極的に取り組んでいる。 授業中の発言、教員への質問等を通して自らの力を高めようと努めている。 他者の発話や記述を積極的に理解しようと努めている。

	適切な発音、リズム、アクセント で発話することができる。	
--	---------------------------------	--

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい	考查等
一 学 期	文構造	語順や文型などの英文のルールを確認する	中間テスト
	it を使った構文	形式主語／目的語を使うべき場面を理解する	
	注意すべき主語と動詞	日本語と英語の表現の違いを意識して書く	期末テスト
	時制	内容に適した時制を使って文を書く	
	助動詞	内容に適した助動詞を選んで文を書く	
	仮定法	仮定法の表現を十分に使いこなす	
	比較	具体的な数値や程度を描写する	
	関係詞①	詳しい説明を加える表現を使いこなす	
	関係詞②	詳しい説明を加える表現を使いこなす	
	態	受動態、能動態それぞれの使うべき場面を理解する	
二 学 期	特殊構文	強調、倒置、省略、部分否定を正確に表現する	中間テスト
	不定詞・動名詞①	不定詞の用法を理解し使いこなす	
	不定詞・動名詞②	不定詞・動名詞の様々な表現を正確に書く	期末テスト
	分詞	詳しい説明を加える表現を使いこなす	
	接続詞①	句・節・文どうしの関係を論理的に表現する	
	接続詞②	句・節・文どうしの関係を論理的に表現する	
	名詞・代名詞	名詞を適切に使い分ける。代名詞を正確に使う	
	前置詞	暗記に頼らず、前置詞のイメージを把握する	
	形容詞・副詞	形容詞・副詞を使って、表現をより正確にする	
	自由英作文	読み手に伝わりやすい文章の構成を意識して書く	
三 学 期	60～100 語程度の自由英作文、論述の練習		学年末テスト